

# こうや清 県政レポート

かながわ民進党県議団

横浜市保土ヶ谷区版

(平成28年冬季号)

横浜市保土ヶ谷区西谷町 623

TEL 383-1290

FAX 383-1291

[kohya.kiyoshi@gmail.com](mailto:kohya.kiyoshi@gmail.com)

[www.kohya-kiyoshi.com](http://www.kohya-kiyoshi.com)

発行責任者： 高谷 憲

かながわ民進党県議団保土ヶ谷区版(平成28年冬季号)

お世話になりました！ 頑張りました！

## 来年もよろしくお願いいたします

光陰矢の如し！とは申せ、老人？の域に達したせいか、やたら月日の立つのは早く感じます。

阿蘇山の爆発はじめ日本列島各地で火山活動、地震頻発、相次ぐ台風に振り回され、全ての日本人が不安感を募らせた一年でしたが、リオオリンピックで日本人選手の嘗てないメダルラッシュの活躍に私たちは興奮し、不安感が一掃、3年連続、日本人25番目のノーベル賞に輝いた東京工業大学の大隅良典教授生理医学賞受賞は日本人に元氣と勇気を与えてくれました。

私はこの一年、皆さまに支えられ力一杯頑張ってきましたが、年がいくなく張り切り過ぎたのか、永年の喫煙のせいで、ドクターストップ。2ヶ月の休養を命じられてしまいました。

桜の咲くころには元の元氣印の高谷に戻り皆さんのために奉仕させていただきます。

来年も宜しくご指導ご鞭撻をお願い致します

## 補正予算案など可決し、第3回(後半)県議会閉会

十一月二十八日から始まった 第3回(後半)県議会が、十二月二十日、約3億3863万円を計上した補正予算案や、県立産業技術総合研究所設置に関わる条例案など議案29件を可決・同意して閉会しました。

今回は国の公共事業追加が主な一般会計補正予算が十月十一日成立したのを受け、市町村の道路整備など公共事業への交付金の追加、十一月二十五日の津久井やまゆり園検証委員会の報告書を受けた県立及び民間の社会福祉施設への防犯カメラ設置や防犯フィルム貼付、非常通報装置導入等の安全管理体制の整備に関する事業及び交付金を活用した地方創生に関する補正予算措置です。

### 国に意見書を提出

#### 1、原発事故自主避難者の住宅支援継続を

#### 2、五輪の費用負担、早急に明確にせよ

東京電力福島原子力発電所事故で自主避難をしている人たちの国の住宅支援が来年の4月に打ち切られてしまいます。県内には多くの自主避難者が生活していますが、支援打ち切りを継続支援できるように国への意見書、そして4年後に迫った東京オリンピックピック。県内でも野球、ヨット競技が開催予定ですが、費用負担が一向に定まりません。国に役割分担と費用負担を明確にするための措置を早急に講じるよう求める意見書の2本を、満場一致で採択しました。

平成28年度一般会計11月補正予算(1)の主な内容

国において、10月11日に成立した「平成28年度補正予算(第2号)」への対応が必要な事業について、補正予算措置を講じる。

### ア、公共事業の追加

(ア) 土地改良(諸磯小網代(三浦市)他7箇所)	114,841千円
(イ) 道路橋りょう(国道129号他17箇所、国直轄事業)	1,378,458千円
(ウ) 河川海岸(矢上川他9箇所、国直轄事業)	2,386,000千円
(エ) 港湾、砂防(湘南港(江の島大橋)他9箇所)	1,015,600千円
(オ) 市街地再開発等、公営住宅(二俣川駅南口地区他6箇所)	5,108,210千円
イ、農業人材力強化支援事業費	800千円
ウ、ヘルプマーク推進事業費	1,921千円
エ、病虫害防除事業費	271,164千円

平成28年度一般会計11月補正予算(2)の主な内容		
11月25日の津久井やまゆり園検証委員会の報告書を受けた県立及び民間の社会福祉施設等の安全管理体制の整備等に関する事業及び国の交付金を活用した地方創生に関する事業について補正予算措置を講じる。		
ア、津久井やまゆり園で発生した事件を受けた安全管理体制の整備費等		338,635千円
女性相談所	防犯フィルムの貼付及びフェンスの交換修繕	5,309千円
女性保護施設	防犯フィルムの貼付	852千円
児童相談所	画像センサー付防犯カメラ及び防犯ブザーの設置	13,496円
民間児童福祉施設	門扉及び非常通報装置の設置費用への補助	24,750千円
幼稚園型認定こども園	門扉及び非常通報装置の設置費用への補助	12,600千円
県立児童福祉施設	画像センサー付防犯カメラ及び防犯ブザーの設置	22,727千円
イ、地方創生に関する取り組み		46,056千円

## こうや清後援会忘年会(感謝の夕べ)開催!

一年を無事に通らせて頂いた年神様に皆さまと一緒に感謝する後援会主催、恒例の「平成28年に感謝する夕べ(忘年会)」が、十二月四日、イヅミ産業・広美で盛大に賑やかに開催されました。今年も、牧山ひろえ参議院議員に加え、民進党に合流し、一緒に活動することになった青柳陽一郎衆議院議員も出席。「凄い!こんな楽しい忘年会は初めて!」とお手伝いの人々のため息を漏らし、参加者一同と親しく懇親を深めていました。

多くの方から提供して頂いた豪華な商品の当たる恒例の抽選会で会は最高潮に達し、あつと言ふ間の2時間が過ぎてしまいました。



平成28年を感謝する夕べ

## “地域と行政を結ぶホットライン”に徹し、歩み続けた、こうや清の30年 (その4)

やっぱり駄目だった!  
頼り過ぎに反省  
自力着けるのが先!

日本鋼管労組からの全面支援を受けた市会議員候補との平成3年のペア選挙(と思いきや、私には負けた。羨む気持ちは無いが、事前活動の一抹の不安が的中した格好になり、鋼管労組を頼りにし過ぎた自分自身の愚かさ、腹が立ちました。

やっぱり人をあてにせず、自分で頑張り、自力をつけなさい!地べたを這いつくばっての活動の再スタートです。

出来る!頼れる!地域の議員を目指して

こうや清は「ノーバッチでも仕事はできる力のある男」と保土ヶ谷区民に知ってもらいたく「何か行政に頼みたいことありませんか?私が代わりに頑張ってみます。」と積極的に御用聞きに地域を回りました。

まさに地域と行政を結ぶホットラインです。

カーブミラーの設置、道路側溝の清掃からがけ崩れ防止、私道舗装などの要望を聞くたび、区役所、保土ヶ谷土木事務所に駆け込みました。

ある所長が「議員でもない高谷さんが私を一番訪ねてくる!」と苦笑いをされるほど土木事務所には通いました。

その中で地域の関係者から喜ばれた実例を紹介します。

崖崩れ防止対策工事です。峰岡の崖の上にある家を訪ねるとびっくり!玄関ドアすれすれに地割れがしているではありませんか!これでは震度3、4の地震で家もろとも崩れ落ちてしまうのは必至です。当然そのお宅では何度も防止工事をと、県・市に頼んでも急傾斜地崩壊対策事業の適用対象外だから出来ない!と言われ、だからと言って自費工事などとても無理と諦めていた頃の私の訪問です。

私は、国・県・市が互いに行政権限を守って、責任をなすり合っているからだ!と直感し、現職の仲間の議員の紹介を受けながらも、それぞれの担当部署に直接出向き、国・県・市の共同作戦で当該がけ崩れ防止工事をするように粘り強く交渉を続けました。

結果、国・県・市互いの行政権限の範囲で負担しあい100%税金で工事をするようになりました。1年後には工事も完成し、そのお宅も安心して日常が送れるようになりました。(以下、次号

勝手ながら

### 来春の初詣は中止

とさせていただきます。  
こうや清が1月いっぱい  
のどのオーバーホールが  
必要となったため  
御了承下さい  
ご免なさい!

